

## 第10回 小学校再編に関する地域住民説明会（和田島小学校区） 概要

- 日 時 : 平成30年8月7日（火） 19時開始
- 場 所 : 和田島小学校 2階 会議室
- 参 加 者 : 33名
- 教育委員会 : 教育長 他8名  
(事務局)
- 内 容 : 1. 開 会  
2. 教育長あいさつ  
3. 教育委員会職員紹介  
4. 配布資料確認  
5. 説 明  
① 小学校再編に向けて  
② 小松島市立学校再編基本計画（案）  
③ 学校施設の利活用  
6. 質疑・応答（意見交換）  
7. 閉 会

### 地域・保護者等から出された主な意見と回答

○平成42年度の完了を目途に学校再編という事だが、どのくらいの期間で完了すると考えられているのか。

→（回答）

2030年度までには再編を終わらせたいというのがまず大枠の考え方であるが、始期を決めるのはまだこれからになる。そういったスタート年度や、どことどこが一緒になった学校がいつどこに開校するのか、といったような詳しいことは実施計画の中でお示しすることになる。小松島南中学校も一旦始めてから、基本設計が1年、実施設計が1年、建設し始めてからおそらく2年ちょっとかかっているのだから、計画がスタートしてもそういったことがある。

○2030（平成42年）に「1,125人」になる根拠を示していただきたい。

また、一番初めは11校を5校であったところ、児童数が減ってきた関係で今の計算では小松島全体で3校くらいになるということだが、反対・賛成は別にして、「本当にできるのか」というのが我々住民としての心配事。その坂野中学校の校舎や体育館を壊すわけでもなし、どう使用しようかということもない。

→（回答）

2030年は「1,125人」という子どもさんというのはどういった割り出しをしているのかに

については、平成 23 年から平成 28 年までの、3 月末の住民基本台帳の年齢別人口をもとに、5 年間の年齢別人口動態率や死亡率によって、平成 29 年 3 月の年齢別人口を推測しているもの。0 歳児の人口については、各年の 15 歳から 49 歳の女性の推定人口と平成 27 年度の合計特殊出生率の「1.45」という数字によって推計している。

今現在、坂野中学校、立江中学校の校舎は解体にかかっている。それは、耐震補強工事をやっていなかったことを踏まえて校舎については、老朽化と地震が来たら壊れてしまう可能性があるということで、今解体をしている。残る施設については、今でも坂中グラウンド・体育館含めて社会体育の利用があるので、当分の間は、そういった形でやはり運営をしていく必要がある。緊急避難所になっている学校施設も多々あるので、そういったことも踏まえないといけない。小学校施設については、耐震強化はできている。坂中、立中とは違い補強はできているが、ただ年数が経っており、老朽化していることは違いない。そういったことを踏まえて今後考えていく必要があると今現状は考えている。

○今日の説明会は、和田島の住民の何%に周知して開いているのか。私は通知をいただいてないが、他人さんの通知を見て自主的に来させていただいた。何%の人が知っているのか。

→ (回答)

この度の説明会は、和田島小学校区だけではないが、まずは小学校の子どもさんを通じてこの案内通知を出させていただいた。それと地域の公民館の方々と、幼稚園についても子どもさんを通じて保護者の方、それと公立・民間を問わず保育所・認定こども園。ご案内文書については、小学校、就学前、公民館、PTA 関係を含めて市内で約 2,700 通配布させていただいた。あと、「広報こまつしま」の 7 月号と市のホームページでも。各戸々のお住まいの方それぞれにはいってはいないが、できる範囲の通知の仕方ということで、今回そういった形をとらせていただいた。

○和田島の場合は複式学級になる可能性が非常に薄いと思う。2クラスにするのは理解できないことはないが、地域住民のコミュニティという点については、それは極端に悪くなることが予測される。地域の活性化ということも考慮しながら4校でも5校でもいいではないかというのが私の意見。

○2校もしくは3校と言えども大体、和田島地域が組むのは、和田島、坂野、新開、立江、櫛淵になると思う。案の方を見ても多分そうなるように思われるが、説明の中で学校再編の「場所」は「既存」ってなっているが、真ん中あたりで言ったら、新開と立江。既存の中ほどと言ったらそうなるが、今の意見から言ったら、「和田島に」っていうことも考えられるということか。

→ (回答)

今現在この「基本計画（案）」でお示ししていることが全て。原則論として、原則、今の学校敷地から。ただし、安全・安心のため、津波とか防災対策といったことを踏まえて、これから考えていくというのが今の時点での回答ということで、御理解いただきたいと思う。

○江戸時代からあった地震においても、和田島町には津波は来たことがない。広報には6メートルの津波が来ると言っているが、徳島に6mの波が押し寄せてきても、和田島町にはそこまで押し寄せて来ない今までは。和田島町というのは、防災関係においては非常に有利なのではないかなと思っている。それと自衛隊がある。自衛隊の職員さんを和田島町に置いてもらって即応できるような体制を築いていったらいいのではないかな。

○今子育てをしている一保護者だが、「市内で3校程度」というのが妙に引っかかっている。きっと南地区が1校になるんだらうなと生徒数とかを見ていると思うが、南に全部まとめて1校にしてしまうというのは、通学的にすごく支障が出てくると思う。「2km～3km以上は通学支援」ってなっているが、和田島小学校から坂野小学校までの間が1,700m程度。そこまで歩ける子って非常に少ないと思う。せめて2km以上は通学支援が必要だと思っている。そうでないと親が車で送迎することになって非常に負担がかかる。毎朝、毎日行くものなので。という点からも、小学校は近くであってほしいと思っている。「3校程度」となっているが、「4校」というのもあり得るか。

→（回答）

あくまでも「3校程度」ということで、具体的に何校になるのかはこれから。「基本計画（案）」の中では3校程度あったら複数のクラスが保てる学校規模になるが、詳細の学校数というのは、こういった御意見をいただいて最後は決めていくということで、一般的に「程度」なので、2校、3校、4校と、一般的に考えられるのかなといったところだが、現状ではまだこれからということで御理解いただきたいと思う。

○市の財政も厳しいと伺っているが、子育て支援の一環として極力多めの数を残してほしいと思っている。少子化、一人の女性が生む子どもの数が減っているというよりも、若年層自体が減っている。女性、若い世代が今でも住み続けたいと思うのは、やはり教育施設の充実というのが第一だと思う。そういった点も考え慎重に、完了時期という目標もあると思うが、「段階的に」というのも含めて考えていただきたいと思っている。

○再編の話は仕方がないとして「場所」の選定の話になる。和田島小学校には近くに自衛隊があることから、冷暖房も何年も前から設置し、自衛隊の方から補助金が下りるような小学校。結局、市もお金がないのなら和田島小学校を残して自衛隊の補助金を利用して立派な校舎を建てるという案もあると思うが、そういうお金の補助金の面というのは考慮に入れてくれるのか。

→ (回答)

市の財政運営を踏まえ、学校を建てるということになれば、防衛省の補助金ではないが、文部科学省の補助金もあるので、その辺については2次的、3次的要素の中では充分考えていく必要はあるのかなとまずは思うが、まず一番には「子どもたちのために」ということを念頭に考えていきたいと考える。

○小学校は教育委員会、学童クラブは児童福祉課、と担当課は違うが、小学校が再編になるという、小学校に併設されている学童保育ももちろん一緒に引っ付いていくことになる。実施計画とか合併協議会を組む中で学童保育の関係者も是非参画させていただきたい。もしくは運営委員会なり、実際に学童で働いている放課後児童支援員も是非入れていただいて意見を汲み上げていただきたい、というのが一つのお願い。

○平成 29 年 10 月に有識者会議を設置しました、と書いてある。和田島町からそういう再編にかかる有識者の方って、名前を言ってくれとは言わないが、何人くらい和田島町から選出していただいているのか。

→ (回答)

まず、有識者会議の委員さんは 12 名で、各地域からの委員さんはいない。大学の先生とか、PTA の会長さんとか、そういった方が主で、「各地域」ということになると 11 小学校の地域からということになってしまうので。今回の有識者会議は、まずは一般公募の方がお一人。それと保育所、幼稚園、小学校からの PTA の代表の方、公民館の代表の方、地域の方として民生児童委員の方、それと学校の校長先生や大学の先生といった方を含めて全 12 名で有識者会議を構成していろいろ御議論をいただいた。

○公募の方法はどういう具合に、何の広報に出て、どういう形でして、誰が選定をしたのか。こういう交流会を丁寧に時間かけて和田島町の全員に、関心がない人は来ないが、全員の方に周知徹底をするような方法で次の会をよろしくお願ひしたい。

→ (回答)

まず 1 点目。有識者会議の公募については、先ほどから説明会の案内通知を全員にというお話があった。我々、教育委員会も含めて、市の広報誌「広報こまつしま」が全戸に配布されているはずであり、この度の説明会についても各ご自宅には必ず広報誌が届いているので、そういった中で説明会の御案内を差し上げていることがまず 1 点。そこは御理解をいただきたい。

それと、「公募」については、その公募も広報誌を通じて昨年 8 月から、確か 9 月に公募を行った。その内容については、原稿用紙おそらく 400 字で学校再編に対する考え方をまず書いていただくものだった。それに数名の応募があり、市の教育委員会の中で公募の選定委員会を作り 1 名を選出した。

○再編の「実施計画(案)」を作るのは12月から3月の間のところに入っているけど、この案を作るまでの間、全地域での説明会が終わった後で、例えば小学校のPTAの保護者から代表で意見を出してもらえる方を募集して、直接、今現状で子育てをしている方とか、それ以外の方でも結構だが、こういう説明会で意見を求めるのではなくて、もっと近しい所で意見を聞いていただける方法をお考えになられてないか。

→(回答)

今回、11小学校区でということ、市P連の方に間に入っていて、そういう方を募集していただいているいろいろな意見交換するというのも、要望なりいただければ当然すべきであろうとは考えているが、その辺についてはまたちょっと実施方法等を考えていきたいと考えている。

○できるだけ直接話を聞いていただける場の数をもっと増やしてほしい。この短時間ではなかなか皆さん思いがあっても、こういう場ではなかなか言えない方もいらっしゃると思うので、そういう場を作っていただけたらと思う。

→(回答)

手続きとして一番最初に「パブリックコメント」というお話もさせていただいた。自由な御意見をいただいて、それに対し我々教育委員会が回答させていただくようなこともあるので、またそういったことも御利用いただくというのも一つの手なのかなと。御意見をいただいたので、そういったことをまたいろいろ考えていきたい、というように思っている。